

[成果情報名] ビワ無核「麗月」の商品性

[要約] 消費者のビワに対するマイナスイメージは「汚れる」、「種が大きい」、「甘くない」である。ビワ無核「麗月」は、可食部が多く、食味の評価が高く、食べやすいため、マイナスイメージを払拭できる。

[キーワード] ビワ、無核、可食部、食べやすさ

[担当] 長崎県農林技術開発センター・果樹研究部門・ビワ落葉果樹研究室

[連絡先] (代表) 0957-55-8740

[区分] 果樹

[分類] 指導

[作成年度] 2018 年度

[背景・ねらい]

平成 29 年度にビワ「麗月」は植物成長調整剤（ジベレリン、ホルクロルフェニユロン）の開花期前後の処理により無核（種無し）栽培が可能となることを明らかにした（平成 29 年度長崎県成果情報（指導））。ビワの新たな商材としての無核「麗月」の有利性を証明するとともに、食べ方を提案し、消費拡大を目指す。

[成果の内容・特徴]

1. 消費者のビワに対するマイナスイメージの上位 3 つは「汚れる」、「種が大きい」、「甘くない」である（図 1）。
2. 可食部分は無核「麗月」が有核「麗月」より約 10% 多い（表 1）。
3. 無核「麗月」を試食した人の評価は、外観はやや低いが大きさ、食味は高い（図 2）。
4. 無核「麗月」を購入したい～検討との評価をした人の感想は、「外観は悪い」が「食味が良い」、「種が無いので食べやすい」、「果肉が多い」、「手が汚れない」である（表 2）。

[成果の活用面・留意点]

1. 無核「麗月」の生産者への栽培普及とビワの消費宣伝に活用する。
2. 今回、試食した無核「麗月」は、果軸を長めに残し、器具（ピコ）を使って果頂部を取り除き、果軸を持ってバナナの皮のように頭から剥いて果頂部から食べてもらった。



写真 1 無核「麗月」の試食果実剥き方（2018 年）

※器具はイチゴヘタ取り用器具のピコ（下村工業株式会社製）

[具体的データ]

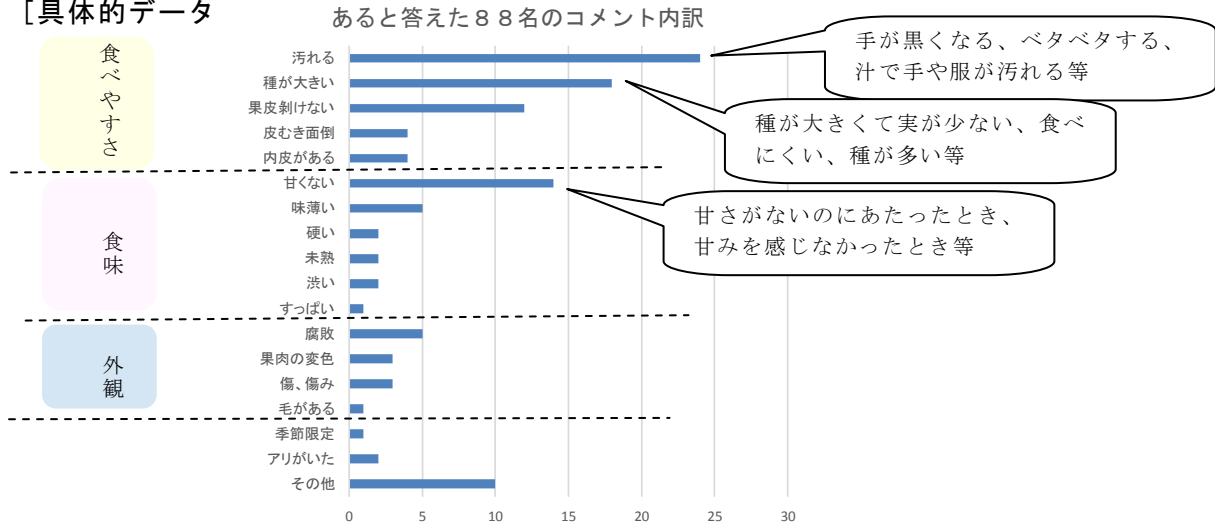


図1 一般消費者の「ビワに対するマイナスイメージ」(2018年)

※2018年5/31-6/4に長崎市の果物専門店への立ち寄り客100名に対し記述式アンケート調査を実施した結果。数字は回答者数。設問は「ビワを食べるとき残念に思うことがありますか」。

表1 ビワ無核「麗月」の可食割合(2018年)

サイズ	区分	重量(g)			可食割合 ² (%)
		果実	果肉	差	果肉/果実
M	無核	36.2	30.1	6.2	83.0
	有核	35.7	25.6	10.1	71.7
	有意差 ^y	*			
L	無核	48.1	40.2	8.0	83.4
	有核	48.0	33.0	14.9	68.9
	有意差	*			
参考2L	有核	60.5	40.0	20.5	66.1

²剥皮前の果実と果肉(可食部)の重量割合。不可食部の除去はピコ(下村工業株式会社製)で果頂部を除去し、手で果皮を剥き、果梗部をとり包丁で二つに割り無核は内皮、有核は内皮と種を除いた

*はt検定により5%水準で有意差有り

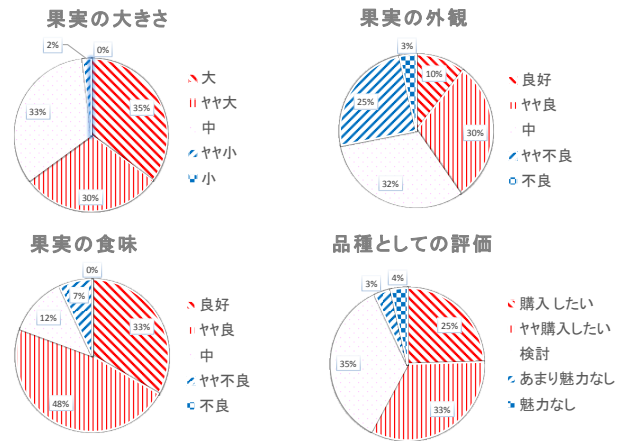


図2 ビワ無核「麗月」の試食アンケート結果(2018年)

表2 ビワ無核「麗月」の試食アンケートコメント(2018年)

区分	品種としての評価	購入したい	やや購入したい	検討	あまり魅力なし	魅力なし	合計	備考
食べやすさ	手が汚れない	1	1				2	
	種が無いので食べやすい	3	1	3			7	
食味	果肉が多い	2	3	1			6	
	良い	4	6	5			15	えぐみ、渋みが少ない
外観	味薄い			3		1	4	
	良い	1					1	
内皮	悪い	2	3	2		1	8	果頂部の形悪い
	気になる		1	1			2	
価格	安ければ買う	2			1		3	1個40円
コメント記入者	(複数回答)	10	11	13	1	1	36	

[その他]

研究課題名: ビワ供給拡大のための早生・耐病性ビワ新品種の開発および生育予測システムの構築、「なつたより」等良食味ビワの省力栽培法の開発

予算区分: 農研機構生研支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業」、県単

研究期間: 2014-2018年度、2018-2022年度

研究担当者: 谷本恵美子、松浦正

※図2および表2は、農林技術開発センター職員57名に対して実施した5/1収穫無核「麗月」の5/2試食アンケート結果。果頂部と内皮の除去は器具(ピコ)使用。